

2021年取引先表彰 最優秀賞について

平素より、弊社事業運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2022年度の資材調達方針説明会(SR)にて、2021年取引先表彰※の実施を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、誠に残念ながら中止とさせていただきます。

SRでの表彰に代わり、今回最優秀賞を受賞された「佐藤・池原建設工事共同企業体様(代表者:佐藤工業株式会社様、構成員:池原工業株式会社様)」および「東開工業株式会社様」を、5月にお取引先さま事業所にて表彰いたしましたので、ご紹介させていただきます。

※2021年1月～12月に協働カイゼンに取り組んだ案件、もしくはご提案いただいたVE提案の中から、特に優秀な案件・ご提案を選出し、そのお取引先さまを表彰するものです。

2021年取引先表彰 最優秀賞 (2件名)

佐藤・池原建設工事共同企業体 様

【受賞件名】

原町発電所 新導水路建設工事ならびに関連除却工事における協働カイゼン

① 佐藤工業株式会社 様 (2022年5月13日)



(左: 東京電力リニューアブルパワー株式会社 取締役副社長 小林 功)

(右: 佐藤工業株式会社 代表取締役 専務執行役員 伊藤 隆実様)

～佐藤工業様からのコメント～

この度は、最優秀賞を賜り誠に光栄に存じます。

受賞対象の「原町発電所 新導水路建設工事ならびに関連除却工事」は、貴重な再生可能エネルギーである水資源の有効活用を目的とした、原町発電所の新導水路トンネル建設工事であり、弊社として一日も早い設備運開を目標に工期短縮に取り組みました。

工事を進めるにあたっては、国土交通省の八ッ場ダム、群馬県企業局の八ッ場発電所など、既設構造物への影響を考慮しながら工事を進める必要がありましたが、時には工期が嵩む工法で工事を進めなければならない場面もありました。東京電力様とは工事着手時から現場で膝を突き合わせ、協働カイゼン活動として些細な事でも意見を交わしながら、目標とした工期短縮を成し遂げると共に、貴社の増電に貢献することができました。

本受賞は、東京電力様、松上地区をはじめとする地域の皆様のご理解があつての事と感謝しております。引き続きご指導の程よろしく願いいたします。

この度は誠にありがとうございました。

② 池原工業株式会社 様 (2022年5月10日)



(左：池原工業株式会社 代表取締役 池原 純様)

(右：東京電力リニューアブルパワー株式会社 取締役副社長 小林 功)

～池原工業様からのコメント～

この度は、最優秀賞を賜り誠に光栄に存じます。

受賞対象の「原町発電所 新導水路建設工事ならびに関連除却工事」は、昔から地域で共存してきた原町発電所に関わる工事であり、且つ、昨今注目されている再生可能エネルギーの有効活用を目的とした工事であったことから、弊社としても、一日も早い工事完成、設備運開を目標に取り組みました。

工事を進めるにあたって、弊社の強みである「地域密着」を前面に押し出し、地元企業としての地域と良好な関係を築きながら、東京電力様をはじめ、共同企業体を組んだ佐藤工業様をサポートし、長期にわたる大型工事を無事に完遂することが出来ました。

また、本工事を通して得たノウハウは、今後の東京電力様の大型工事における安全活動、各種カイゼン活動に活かせるものと感じています。

本受賞につきましては、東京電力の皆様のご協力と、関係各位、松上地区をはじめとする地域の皆様のご理解あつての受賞の事と身に余る光栄であり感謝しております。引き続きまして、ご指導の程よろしくお願いいたします。

この度は誠にありがとうございました。

東開工業株式会社 様

【受賞件名】

原町発電所 第二取水口ゲート他設置における協働カイゼン

○ 東開工業株式会社 様 (2022年5月20日)



(写真左 東開工業株式会社 代表取締役 高野 次郎様)

(写真右 東京電力リニューアブルパワー株式会社 取締役副社長 小林 功)

～東開工業株式会社様からのコメント～

この度は、協働カイゼンの取り組みにおきまして最優秀賞を賜り、誠に光栄に存じます。

受賞対象の「原町発電所 第二取水口ゲート他設置」は、群馬県八ッ場発電所からの河川維持流量を確保し、緊急停止時の流水緊急遮断、河川からの逆流防止等に対応しながら、新原町導水路に適切な取水量を制御するゲート設備となるものです。

「取水量を適切に制御でき、かつコストメリットのある制水ゲートの構成」のご提案において、使用頻度の少ない取水口制水ゲートを単一式ゲート（ラック巻上機）から鋼製角落し（手動吊込装置）とし、流量調整ゲートを多段式ゲート（スピンドル巻上機）から単一式ゲート（ラック巻上機）とすることでゲート構造の単純化と無停電電源装置(UPS)容量の削減も含めたコストダウンの確保を図りました。

「工期短縮」において、立坑を構築する土木JV様と協働し、立坑内コンクリートスラブの鋼製化、自立式階段の構造採用により支保工・足場工の工程短縮を図り、現場据付の部分完成と立坑までの仮栈橋設置により、ゲート設備運開時期の90日短縮を達成することができました。盛土および構台撤去後に付帯設備を施工し、運開時期に影響することなく工事を完了しました。

今後も、今回の受賞に驕ることなく、水力発電関連工事で培ったノウハウを活かし、貴社のご期待に添えるよう、社員一同取り組んでいく所存でございます。

今回の受賞につきまして、改めまして関係各位に感謝すると共に、引き続きご指導のほどよろしくお願いたします。

誠にありがとうございました。